

平成二十六年二月三日より

## 展 観 目 録

「季節の道具の取り合わせ」

表千家北山会館

京都市北区上賀茂桜井町61番地

075・724・8000  
<http://www.kitayamakaikan.jp>

◎ 展示室

掛物

山本行範筆 和歌 相生松風ノ歌

「松によする祝 行範

相生のこの双本に伝わりて

久しかるべき宿の松風」

花入

浅黄交趾 三ツ耳

即全造

而妙齋箱

三田青磁

上村淳之筆 尉鷓(じょうびたき)ノ絵

而妙齋箱

掛物  
水指

即中齋好 蓬萊蒔絵 溜 手桶

宗哲作

夜寒焼 瓢形 碌々齋筆 柳ノ絵

惺齋筆 青柳ノ歌 「青柳の糸よりかくる 春しもぞ」

掛物

而妙齋筆 横物 「寒梅月団々」

與兵衛作

棚

而妙齋好 真形 「千年翠福寿海」

小兵衛作

掛物

太宰府天満宮 楠古材 好文棚

而妙齋箱

茶碗

竹田穎川筆一行 「本来無一物」

重利作

而妙齋好 絵唐津 沓形

覚入作

掛物

赤 即中齋筆 ヤリ梅ノ絵

水指

而妙齋筆 梅ノ絵 高田明浦賛 「徧界香」

茶杓

而妙齋手造 黒 銘 巖松

清右衛門作

掛物

南鐔 而妙齋銘 天鼓

而妙齋箱

福富雪底筆一行 「一劍倚天寒」

茶器

即中齋好 内朱金 黒大棗 金島桂華筆 白梅ノ絵 一閑作

掛物

元伯形 椿ノ木 宗哲(十代尼宗哲)作

菓子器

間宮英宗筆 馬絵賛

水指

而妙齋好 松唐草蒔絵 縁高 一閑作

掛物

高田焼 菱馬 即中齋筆 金泥一行「青松多寿色」 即中齋箱

水指

惺齋好 萩焼 梅形平 新兵衛作

茶碗

乾山写 田家梅 即全造

掛物

即中齋筆 松ノ絵 朝鮮神宮献茶ノ節

掛物

大綱宗彦筆 和歌 埋火ノ歌

茶器

而妙齋好 竹曲 「何となく春めくものハそら焼(だき)の むめがかかほる埋火の本」

灰器

而妙齋好 梅鉢紋 利休四百年忌ノ折 吉左衛門作

茶杓

而妙齋作 銘 春光 東大寺二月堂ノ松明ヲ以テ 正玄作

釘

即中齋(覚二郎)作 銘 よろこび 小兵衛作

香合

偕樂園 梅ノ木 而妙齋銘 清香 浄益作

服紗

萬古焼 菱馬 九谷焼 染付 開扇 而妙齋好 桐唐草紋 三色 大阪有香作

釘類一式

而妙齋箱

惺齋箱

而妙齋箱

惺齋箱

而妙齋箱

惺齋箱

而妙齋箱

惺齋箱

而妙齋箱

◎ 呈茶ロビー

掛物

隨應戒仙筆 富士繪賛「脚下雲生雪萬年」  
即中齋筆 横物「千里同風」 額装

◎ 立礼席

掛物

如心齋午繪賛写  
而妙齋賛「この馬にのりて千里をとびまわれ  
達者をおのがむちにこそして」

猶有齋宗員筆 午ノ絵 軸先 一閑作 而妙齋好表具 吉兵衛作

花入

今戸焼 信楽写 ウツクマル

半七作

惺齋箱

釜

瓢形

浄中作

水指

惺齋好 黄釉 末広 蓋 一閑作

弘入作

茶器

碌々齋好 京極棗

一閑作

茶碗

赤 惺齋自筆 桐ノ絵

惺入作

替

金海写

妙全造

茶杓

牙

建水

唐銅 コマツナギ

蓋置

高取